

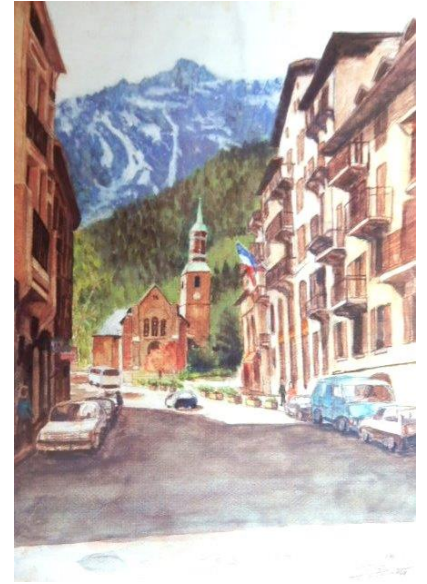
学長のコラム

地域包括連携医療教育研究センターの創設について

ベビーブーマーが後期高齢者になり、且つ 3 人に 1 人が 65 才以上となる 2025 年に向けて、地域包括ケアシステムの構築が国（厚生労働省）の施策として打ち出され、種々の取組がなされていますが、課題も多い。本学は、地域に立地する医療系の大学として、地域の医療・保健・福祉にも貢献するとともに、2025 年問題にも対処できる教育・研究を実施せねばなりません。そこで、本学の教職員の知恵を集め、熊本市北区役所及び合志市などの行政や NPO、その他民間施設等と連携することにより、熊本市と合志市における地域包括ケアシステムの構築に関する調査研究を実施し、その課題を抽出して、その解決策やシステムモデルを提言すること、さらに、地域包括連携医療における看護師、保健師、リハビリテーションセラピスト、臨床検査技師のあるべき姿を明らかにすることを目的として頭書の教育研究センターを来る 4 月 1 日に開所します。研究成果は、社会に発信するとともに、各学科・専攻の教育プログラムに反映することとし、学生諸君の地域医療に関する学外実習等の充実にも資することとします。

センター長を安部眞一副学長（理学博士、生殖・発生生物学）にお願ひし、センター長職務代理・研究員に竹熊千晶教授（公共政策博士、地域・在宅看護学）、研究員として、佐々木千穂准教授（博士（学術）、地域リハビリテーション学）、山鹿敏臣准教授（博士（工学）、地域医療情報学）を選任させていただきました。当面、1 号館の 1502 室を改修して、スタートしますが、5 月 28 日（日）には、地域医療に詳しい富山大学医学部 山城清二教授、研究協力の協定を結んだ大西一史熊本市長と荒木義行合志市長などをお迎えして、キックオフシンポジウムを計画しています。

センター所属の教員には、自ら研究するだけでなく、地域の人々と学内のすべての先生や学生諸君とをつないで研究を推進し、熊保大ブランドを構築することを期待していますので、学内の先生方の積極的な研究参加と職員のご支援をお願いします。



3 月・4 月の主な行事予定

3 月 3 日（金）	センター試験利用入試（後期日程）：合格発表 3 月 10 日（金） 看護学科臨地実習合同会議（メルパルク熊本）
4 日（土）	大学院一般選抜・社会人選抜（Ⅱ期）：合格発表 3 月 10 日（金）、後援会役員会
6 日（月）	ハラスメント防止研修会、特別セミナー（主催；看護学科 後援；FD 委員会）
7 日（火）	個人情報・情報セキュリティ合同研修会
8 日（水）	大学教育改革プログラム クリッカー活用講習会
10 日（金）	卒業式・修了式・卒業記念パーティー
12 日（日）	熊本県看護協会研究学会
14 日（火）	第 2 回 FD セミナー
15 日（水）	学校法人银杏学園 理事会・評議員会
16 日（木）	学内研究助成・研究報告会（～17 日）
19 日（日）	学校法人银杏学園 臨時理事会
22 日（水）	第 2 回 SD 研修会「教職協働の一端を担う事務職員の役割について」
23 日（木）	職員旅行（天草方面）（～24 日）
30 日（木）	プレゼンテーション授業セミナー
31 日（金）	辞令交付式
4 月 1 日（土）	新規採用者オリエンテーション
2 日（日）	入学式、辞令交付式、後援会総会、実習認定式（看護新 3 年次）
5 日（水）	新入生歓迎会（学友会主催）
6 日（木）	米満弘之前理事長への感謝の会
13 日（木）	杏友会歓送迎会（熊本ホテルキャッスル）
22 日（土）	保健科学部 4 年次保護者会

卒業式・修了式

3 月 10 日（金）に卒業式・修了式を開催し、医学検査学科 124 名、看護学科 108 名、理学療法学専攻 44 名、生活機能療法学専攻 44 名、言語聴覚学専攻 36 名、大学院保健科学研究科 7 名、助産別科 20 名の総計 383 名がこの日を迎えました。卒業生・修了生の皆さん、御卒業おめでとうございます！



国家試験合格発表日

3 月 27 日（月）看護師・保健師・助産師
3 月 28 日（火）言語聴覚士
3 月 29 日（水）臨床検査技師・理学療法士・作業療法士

第1回西里校区健康ウォーキング大会

去る3月5日、西里健康づくり委員会他主催・本学他協賛による「第1回西里校区健康ウォーキング大会」が本学をスタート・ゴールとする7.2kmコースで開催されました。風の冷たいす曇りの天気でしたが、桃の花が咲いていたり、鳥のさえずりが聞こえたりする春の気配を感じる中、3歳～80歳代の老若男女約120名が元気に完歩されました。ウォーキング前後の看護学科学生による血圧測定、リハビリテーション学科の吉田先生・木村先生による体操・レクリエーションもたいへん好評で、笑顔あふれる爽快なウォーキング大会となりました。(文責：戸渡洋子 講師)



私の秘話ヒストリー

今回は看護学科の船越講師に投稿していただきました。

物心ついた頃から我が家には犬が居り、私が一番長くともに居たのはナナでした。

ある朝、そのナナが倒れました。目を見開いて身体を動かすことができません。18歳の高齢犬、もうこのままなのか…と覚悟し、添い寝して見守ること一晚。少しずつ手足を動かせるようになり、2日後にはむっくりと起き上がり、数日後にはよろよろと歩きまわるようになりました。よかった…と安堵したのも束の間、それからが大変。長年屋外で暮らし、トイレの躰などしたことがありません。犬用おむつを穿かせてみたものの、尻尾のために開いている穴からポロポロ落ちてしまいます。ナナがうろうろと排泄モードに入ると、家族で大騒ぎしながら付いて回りなんとかキャッチ。時に失敗(!)。本人は構わずたよたと歩き回り、ぶつかったり、挟まったり、尻餅をついたり…。でもナナにとって(私達家族にとっても)初めての室内生活。嬉しそうに甘えて周り、安心しきった顔で寝入る姿に、家族全員がほっこりさせられました。父が亡くなった年でもあり、その穴を埋めるかのような大騒動と和やかな日々は、とても有難いものでした。

でもさすがに介護生活が応え、ナナを見送った後は、我が家に犬は迎えていません。(文責：船越和美 講師)

第8回 日・台・韓細胞検査士合同セミナーに参加して

今回、私たちは台湾の宜蘭県で開催された第8回日・台・韓細胞検査士合同セミナーで発表する機会を与えて頂きました。学術集会での発表自体初めての経験で、しかも海外での英語による発表という事でとても緊張しました。そこで私たちは大学での空き時間を利用し特訓を重ね、現地のホテルでも互いに発音や声量、話す速度等を確認し合いました。そして迎えた発表の当日はやはり緊張しましたが、練習の成果もあり自信を持って落ち着いて発表することが出来ました。発表後に各国の会長および参加者の皆様からの賛辞を頂き、とても嬉しく大きな達成感が得られました。

セミナーの翌日はわずか半日でしたが、台北の名所を観光し、忘れられない思い出になりました。このような貴重な機会を与えて頂きとても感謝を感じると共に、今後の人生の強いモチベーションになりました。将来、再び国際的な学術集会で発表できるよう精進したいと思います。

(文責：医学検査3年 北菌誠也)



利益相反

2月27日(月)に利益相反研修会を行いました。例年同様に本学の顧問弁護士である馬場啓氏(桜樹法律事務所)に説明していただき、当日は、教員70名、職員21名の合計91名の教職員が参加しました。大学における利益相反の考え方や、最近の事例を用いて利益相反について説明して下さいました。(文責：利益相反委員会事務局)



「医学検査学科同窓会講演会」

2月25日（土）、本学にて、第43回医学検査学科同窓会総会及び講演会を開催しました。実行委員の医学検査学科 坂本、山本（3期）です。今回は大学2期、3期で担当させて頂きました。講演会では、崎元達郎学長が「地震と構造物—熊本地震に思うこと—」と題し講演され、またユウベルホテルで開催した懇親会にも参加して下さいました。懇親会は、



医技専1期生の方（参加者最高齢）の乾杯の挨拶に始まり、世代を超えて交流ができました。最後は参加者全員で学園歌を斉唱し、今後の大学の発展を祈念し万歳三唱をして閉会しました。同窓会を実行するにあたり、お世話になりました崎元達郎学長、同窓生の先輩方に深謝致します。

（文責：坂本亜里紗 助教）